

平成30年度

広川町成人式



年明け間もない1月13日(日)、広川町産業展示会館で「平成30年度広川町成人式」が開催されました。

平成10～11年生まれの対象者222人(男109人・女113人)のうち、70%にあたる156人が出席。色とりどりの振り袖や袴、真新しいスーツに身を包んだ新成人は、家族や恩師、地域の人など大勢から祝福を受けました。

開式の1時間前から集まってきた参加者は、なつかしい仲間との再会に歓喜。記念撮影などで旧交をあたためる姿が見られました。

式典では来賓祝辞や祝電披露が行われ、渡邊元喜町長は「これからは自分自身の目で社会の現実をしつかり見据え、学び、判断し、自らの中に確かな考え方をづくりあげてください」とエールを送りました。

式典後の新成人によるイベントでは、小中学校時代の恩師からのメッセージやビンゴゲーム大会で、会場は大きなにぎわいを見せました。



仲間とともに新たな門出を迎えた、晴れ着姿の新成人。
大人への一步を踏み出した新成人たちの表情や思いをご紹介します。

新成人による主張（要約）



園田将大さん
(吉里区)

今日という貴重な1日を「楽しかった」だけで終わらせず、成人というラベルの貼られた偽物にならないために、新成人の皆さんは意地と誇りをもって、昨日よりも成長した自分を信じてください。



吉田友華さん
(久泉区)

両親や先生、友人など、今の私を作ってくれた多くの人たちへの感謝の気持ちをいつまでも忘れないようにしたいです。また、大人としての責任を持ち、恥じることのない行動を心がけていきたいです。



中野遼真さん
(古賀区)

20歳というのはうれしさを感じる反面、不安もあります。自分の意志で進む道を決めることができる、自立した大人になろうと思えます。また、これからの出会いや学びを大切にしていきたいです。



原野陽花さん
(太原区)

大人になるということは、自分の言動に責任を持ち、自立した人間になること。直面した壁から逃げずに向き合い、その場で自分でできることを考えられるような大人になりたいと思います。



上広川・下広川校区



中広川校区

